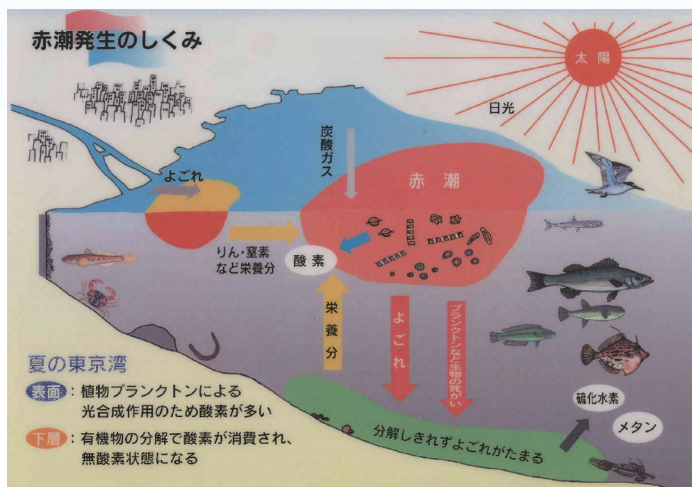
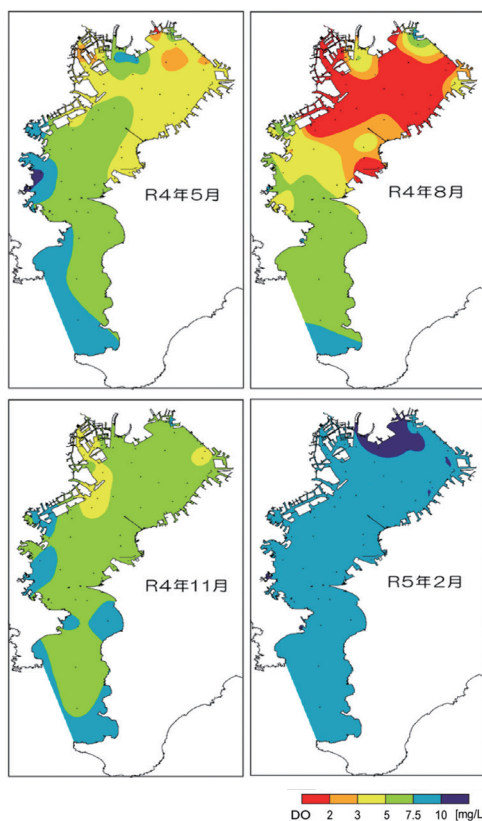


また、大量に発生したプランクトンはやがて死んで
 海底に堆積します。堆積物が多いと、海底で微生
 物が分解する際に大量の酸素を消費するため、
 海底に近い底層の水は貧酸素状態になります。
 夏には貧酸素状態の水が厚くなり（貧酸素水塊）、
 魚がすめなくなるほか、貝などの移動できない底生
 生物は死んでしまいます。



【赤潮発生のしくみ】イラスト：トミタイチロー



【東京湾底層における溶存酸素量（DO）の季節変化】
 ※赤色は貧酸素状態

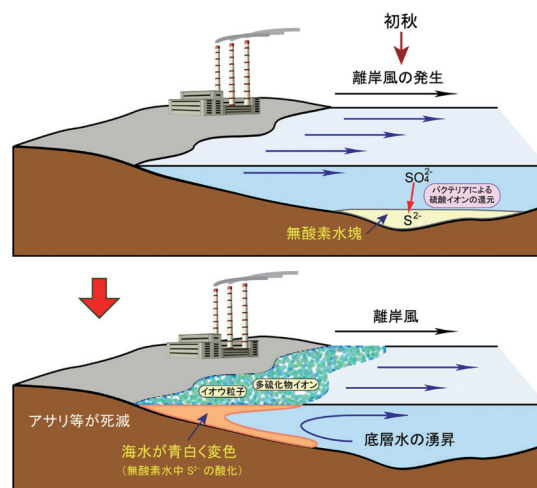
Q 海がいつもと違って青白いのはなぜ？



【青潮】千葉県ホームページより

海岸から沖合にかけて酸素をほとんど含ま
 ない青白い水面が広がる現象を「青潮」と
 呼び、東京湾では例年夏から秋にかけて、
 千葉県の湾奥沿岸部で多く発生します。

これは、陸から沖に向かって風が吹くなど、
 表層の水が沖へ移動することにより、底層
 の貧酸素水塊が沿岸部の表層に湧き上がる
 ときに発生します。底層水に溶け込んでいる
 硫黄分が水面近くで酸素に触れて微粒子状
 となり、青白く見えると言われています。
 青潮が発生すると、沿岸部に生息するアサリ
 などの貝類やカレイなどの底生魚類が大量
 に酸欠死することがあります。



【青潮発生のしくみ】イラスト：東京都環境科学研究所